

南地域まちづくり

第77号

令和元年11月1日発行

かわら版

ふれあいまつり2019に出展します！

11月2日(土)に健康文化センター周辺で開催される、ふれあいまつり2019に南地域自治組織が出展をします。

日頃の活動の案内と、毎月掲載をしている『南地域のたからもの』から出題するクイズや防災クイズを行います。

また、今年度は工作コーナーもあります！

簡単に作ることができ、小さなお子さんでも楽しめるペットボトルを利用した『手作り水族館』が作れます。

世界に1つしかない小さな水族館を作りに来てくださいね！



令和元年度南小学校 防犯・交通安全・防災標語

【優秀作品】(敬称略)

あいさつは	みんなのちからを	つなぎます	二階堂	伶音	(1年生)
つうがくろ	おうだんほどう	みぎひだり	田中	洸	(2年生)
きをつけて	きけんはそこに	かくれてる	丸本	恵大	(3年生)
きけんだよ	スマホにむ中の	そこの君	江口	舞	(4年生)
あいさつは	町のみんなの	笑顔だよ	村上	蒼依	(5年生)
あいさつを	される側から	する側へ	渡辺	彩鈴	(6年生)

次号では、入賞作品を紹介します。

南地域のたからもの vol.26 ～湯の花の神事～

(秋田長桜 天神社)

台風19号の影響で一週間遅れとなった10月20日の日曜日、秋田の長桜にある天神社では、「湯の花の神事」が執り行われました。

「おいだて」とも呼ばれるこの神事は、まず一週間前に役員によってかまどが拝殿東側に掘られ、お湯立ての当番が決められます。

当番は、名前を小さい紙に書き、これを丸めて三宝にのせ、御幣ごへいでその上をなでて、くっついてきた紙を開いて決めます。これを“符上げふあげ”と言います。

神事当日は、当番によってかまどに釜をかけ、一年マメに暮せるようにと、今年収穫した豆木と藁わらを炊きつけて湯を沸かします。

普通のふたでは、釜の中が暗くなり縁起が悪いので、すきまができるよう新藁で十二段に編んだふたを作り、落しぶたにします。

こうして沸かした湯と、山海の珍味を神前にお供えし、神楽を奉納します。その後、お供えした湯を釜に戻し、神主が最初にこの湯を飲み、氏子も続いて湯を飲んで無病息災を願うのです。

毎年執り行われている地域のお祭りも、一つ一つ意味があったりします。地元で執り行われたお祭りを振り返ってみて、その意味を考えてみるのも面白いですね。



「キャーどろぼう そうなる前に とじまりを」

(平成30年度南小学校児童入賞作品)

紅葉や食欲の秋など、行楽シーズンを迎えています。普段より家を留守にする機会が多くなってきます。



出掛ける前の戸締りは、念には念を入れて防犯グッズで二重ロック、二人での戸締り確認等して外出をしましょう。

家に帰って見たら標語の様な状態には絶対にならないこと。泥棒は、侵入に時間が掛かると侵入をあきらめます。